

デフレ不況が峠を越え、明るさが期待される年を目前にして、また新しい課題が生まれてきました。それは先述したように巨大な複合商業地域の開発であり、大規模な共同体グループによる経済戦争であります。

大店法がなくなった今、私達は如何に柔軟に対応して活路を見つけるかが明年からの課題となります。家族を養い、店、会社を守り商店街、地域社会を築くのもすべて人であり、その人を育てるとともに、友人、仲間作りに就任以来全力を上げてきました。

この間、多くの方から、世代交代、若手登用、女性の参加を強く望まれて参りました。

新しい役員、部会、委員会の選任に関係者が大変な苦勞、努力されて皆様が望んだ形の組織を作ってくださいました。

お陰様で、すべての会議において会議所始まって以来の高い出席率をいただき、議論も活発化し、従来の批判、非難型の発言は提案型に変わり、会議の雰囲気も前向きな明るいものとなりました。

この傾向は会員増強にもつながり、11月より会員は増加方向に変わりました。ありがとうございました。

大規模商業地開発については、個々の意見を尊重するとともに、四市経済団体が共に考え、共に協調して対応するよう働きかけ活路を見出したいと存じます。

またデフレ不況を抜け出した経済界は時間の余裕を持たせないスピードで進展しております。

これからも更にこうした時代の要請に応えられる様な人づくり、仲間づくりに全力をあげますのでご理解を賜り、各種会合・行事には是非ご参加下さい。

そして地区内循環型経済を推進し、その相乗効果、経済効率を高めていくことが大切です。

大型店対策としては「ストア方式からショッパ方式へ」と以前にも提案いたしましたが、IT化時代にあって店舗販売と共にネット通販が急速に進展しております。

君津の大自然に恵まれた産物を扱う「ネット販売基地」を会議所内に設置する原案作りを急いでおります。

新年からは更なる経済環境の変化に備えて、よりスピードをあげ判断・決断する優れたリーダー、勇氣あるたくましい経営者作りに会議所がお役に立てるよう一層の努力を致します。

女性会、青年部、部会、委員会が、より一層活発に活動されるとともに、会員向きのビジネス交流、仲間作りに力をお貸し下さい。

「よき人と出会えばよき事起きる商人」の世界であります。

よき年を送り、よき年を迎えられる様祈念いたします。